

# 小平市議会定例会一般質問通告書

質問件名 人の暮らしと自然を調和させる生物多様性の取り組みについて

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

小平市は、玉川上水や野火止用水、狭山境緑道に囲まれ、農地が点在し豊かな緑に恵まれています。市政に関する世論調査でも、小平に住み続けたい理由として自然環境がよいと答えた人は60%を超えて第1位です。この環境を守るための市民活動も盛んです。しかし近年は宅地開発により在来生態系が破壊され、野生生物が減少しています。またペットとして飼われていた動物や園芸植物を放棄したことなどによる人為的な外来種の増加により、生態系や生物多様性の観点から、小平の自然は良好な状態とは言えません。

国は 2008 年に生物多様性基本法を制定し、「生物多様性地域戦略」の策定を自治体の努力義務としました。2010 年には名古屋市で生物多様性条約第 10 回締約国会議(COP10)が開催され「2020 年までに自然の恵みを保ち、生物多様性の損失を止めるための効果的かつ緊急的な行動をとる」ことを目標に上げています。

小平市第 2 次環境基本計画では基本目標として緑の保全、回復、創出や生き物との共生が掲げられています。2021 年度までの残りの計画期間はわずかとなり、今後新しい計画策定に向けて、小平市として生物多様性にどう向き合い取り組んでいくのか、人の暮らしと自然を調和させていくために以下質問します。

- 1、小平の自然の特徴をどのようにとらえ、現在は努力義務とされている生物多様性地域戦略をどう生かしていきますか。
- 2、(仮称)小平市第 3 次環境基本計画や生物多様性地域戦略の策定には生き物調査などの観察調査が欠かせません。市民との協働で行うべきと考えますが、見解は。また、市民団体などがこれまでに蓄積したデータの活用をはじめ、協働することが必要と考えますが見解は。
- 3、生物多様性について、隣接する他の自治体と情報共有していますか。
- 4、生物多様性の確保には、生息地となる緑の保全が重要です。緑被率は2006年は34.3%でしたが2012年は31.8%に下がっています。維持向上のための取り組みは。
- 5、小平市みどりの基本計画2010では身近なビオトープづくりを進めています。現状についてお聞かせください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

平成 30 年 8 月 24 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【                      】

26	25	24	23

-(       /       )